



原発の放射性物質拡散予測、横須賀でも必要



放射性物質拡散予測

原子力規制委員会は24日、原発事故による放射性物質の拡散予測を発表。それによると、原発から三十キロを超えた地域でも避難が必要。柏崎刈羽原発では、四十キロ離れた魚沼市でも避難が必要。

避難計画

周辺自治体は、これに基づき避難計画を立てなければならぬが、そもそも、避難計画は原発側で用意すべきでは無いか？「そん

なことをしたら原発の採算がとれない？」
「だったら、元々原発は使えない物と云う事。」
横須賀の原子炉
ところで、原子力規制委員会は何も言わな
いが、福島第一原発一
号機とほぼ同じ出力の
原発が、横須賀にある。
原子力空母ジョージワ
シントンだ。軍用原子
炉では高濃縮ウランを
使うので、危険度も高
い。放射性物質拡散予
測が必要だ。
上の図はジョージワ
シントンを中心とした
半径十キロ毎の円。横
浜市は三十キロ圏内。
その人口は三六九万
人。一体どこへ避難で
きるのか？
ジョージワシントン
はアメリカに帰っても
らうべきでは？
皆さんはどう思われ
ますか？



とどろき 等々力溪谷 不動の滝

東京都世田谷区

多摩川の下流の左岸は台地となっていて、多摩川より20m位高い。南西に流れる矢沢川が、その台地を深く削ってきたのが等々力溪谷。台地の地層の間隙から清水が湧き出し、滝となって矢沢川に落ちる。台地に「等々力不動尊」があり、そのすぐ下にあるのがこの「不動の滝」。この滝に打たれて修行する人が今日でも訪れるという。この音が溪谷に「轟いた」ことから「等々力」の地名がついたそうだ。
溪谷は緑に包まれ、屋でもほの暗い。都会の喧噪は聞こえず、矢沢川のせせらぎが心地よい。一瞬「ここが東京？環八の下を流れる川？どこか郊外に来たのでは無いか？」と錯覚する。
溪谷の緑を求めて、訪れる人は、ウィークデイでも絶え間ない。